

2023（令和5）年度 直鞍次世代産業研究会総会

（議案）

- 第1号議案：2022（令和4）年度 事業報告
- 第2号議案：2022（令和4）年度 決算報告
- 第3号議案：2023（令和5）年度 事業計画（案）
- 第4号議案：2023（令和5）年度 予算（案）
- 第5号議案：2023（令和5）年度 役員選任（案）
- 添付資料：会員名簿（案）（2023年4月26日現在）

第1号議案

(1)月例役員会及び例会の開催

- 各月第1木曜日を定例役員会予定日とし開催した。
役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。
- 各月第3火曜日を例会予定日とし、令和4年度は新型コロナウイルス感染の低迷期を狙い、会員が集まった総会・新年会、セミナーや視察会等の開催を行った。

開催期日	テ ー マ	概 要
4月27日	令和4年度総会	令和4年度直轄次世代産業研究会総会(エクセレントガーデン)、総会出席47名 ・令和3年度事業報告、決算、令和4年度事業計画(案)、予算(案)の承認
5月12日	総務・情報	「新型コロナウイルス対策支援一覧」を次世代HPへの登録を継続
7月 8日	事業課事業	7月例会・事業化事業(参加者14名)(小倉北区)(西日本展示場 新館) ・展示会「課題解決Expo2022」視察、「エコテクノ2022」等同時開催
8月 4日	市場研究事業	8月例会・市場研究事業(参加者15名)(宮若市) ・株式会社トライアル視察、TRIAL IoT Lab、講義「トライアルについて」
9月26,29日	市場研究事業	9月例会・市場研究事業(参加者23名)(苅田町、小倉南区) ・トヨタ自動車九州(株) 苅田・小倉工場視察
10月 3日	組織人財事業	組織人財事業「夢プロジェクト」審査会(参加者11名) 「夢プロジェクト」作品(応募総数247作品)の採点
10月20,21日	市場研究事業	10月例会・市場研究事業(参加者10名)(豊田市、名古屋市) ・トヨタ工業学園(「ものづくり」は「ひとづくり」)、トヨタ産業技術記念館視察
11月6,13日, 12月4日	組織人財事業	組織人財事業 キッズプログラミング教室(参加者延81名) ・協力 福岡県立鞍手高等学校SSH(協力参加者延48名)
11月11日	市場研究事業	11月例会・市場研究事業(参加者12名)(若松区) ・北九州港(ひびきコンテナターミナル)見学・講演会「北九州港の取組」
1月23日	令和4年度新年会	「令和4年度直轄次世代産業研究会・自動車合同新年会(エクセレントガーデン)、 新年会出席46名
3月 8日	事業課事業	3月例会・事業課事業(参加者19名) ADOX別館(研修室) ・「技術流出の防止に向けて」サイバー攻撃への備え(福岡県警察本部)

(2)2022(令和4)年度 自動車・次世代合同総会の開催

【総会】 開催日 : 2022年 4月27日 場所: エクセレントガーデン
基調講演 : 「トヨタ自動車九州の社会貢献活動」
講師 : トヨタ自動車九州株式会社 取締役 杉山 敦 氏



(3) 取り組んだ主な事業

- ① 7月例会(7月8日)・事業化事業(参加者14名)
 (小倉北区)(西日本展示場 新館)
 ・展示会「課題解決Expo2022」視察、「エコテクノ2022」等同時開催

The poster features a central robot character and various technology icons like Cloud, AI, IoT, and 5G. Text includes '招待券' (Invitation Ticket) and '入場無料' (Free Admission). Dates are 2022年7月6日(水) to 8日(金) at 西日本総合展示場 新館. A search bar at the bottom allows for finding more information.

- ② 8月例会(8月4日)・市場研究事業(参加者15名)(宮若市)
 株式会社トリアル視察 TRIAL IoT Lab

- ・次世代産業研究会では8月4日に、
 宮若市で IoTの研究拠点とAI
 (人工知能)のオープン イノベー
 ション拠点を開設する(株)トリアル
 HDの視察を行った。



(3) 取り組んだ主な事業

③ 9月例会(9月28・29日)・市場研究事業(参加者23名)(苅田町・小倉南区)

トヨタ自動車九州株式会社 苅田・小倉工場視察

- ・次世代産業研究会と自動車研究会と合同で9月28日、29日に、北九州空港付近のトヨタ自動車九州(株)エンジン工場とハイブリッド部品工場の視察を行った。



9月28日視察



9月29日視察

④ 10月例会(10月21日)・市場研究事業(参加者10名)(豊田市・名古屋市)

トヨタ工業学園・トヨタ産業技術記念館視察

- ・次世代産業研究会と自動車研究会は合同で、10月21日に愛知県のトヨタ工業学園とトヨタ産業技術記念館の視察を行った。
トヨタ工業学園では、「ものづくり」は「ひとづくり」であると学園長からの一言が印象的でした。

トヨタ
工業学園



トヨタ
産業技術記念館



(3) 取り組んだ主な事業

⑤11月例会(11月11日)・市場研究事業(参加者12名)(若松区) 北九州港(ひびきコンテナターミナル)見学

・講演会「北九州港の取組」

- ・次世代産業研究会と自動車研究会と合同で11月11日に、北九州港(ひびきコンテナターミナル)の見学と、講演会「北九州港の取組について」を行った。北九州市 港湾空港局 港湾部物流振興課 担当の方より、北九州市の物流ポテンシャルについて講演があり、その後管理棟屋上からの見学、田才倉庫見学会を行った。



管理棟屋上からの見学



田才倉庫(内部撮影禁止)

(3) 取り組んだ主な事業

⑥ 次世代に活躍する人財育成支援

1. 「次世代夢プロジェクト2022」の実施

- ・直鞍地域の次世代を担う小中学生を対象に、みんなの「カイゼン大作戦!!」をテーマに夢のあるアイデアを募集し、優秀作品を顕彰する事業を継続して展開。
- ・直鞍地域19校から247作品の応募があり、内奨励賞作品以上の22作品を顕彰した。
- ・顕彰作品については、イオンモール直方、直方市役所で展示し一般公開した。



応募チラシ



表彰式



作品展示(直方市役所)



賞審査



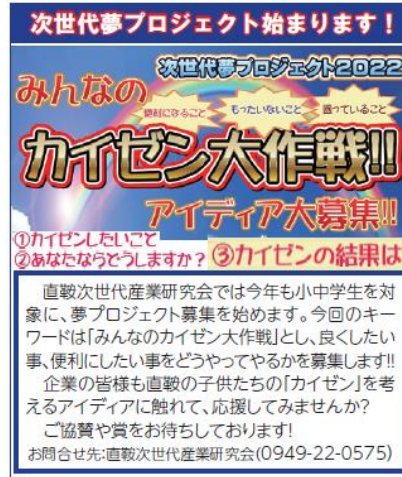
作品展示(イオンモール直方) 7

「次世代夢プロジェクト2022」の広報・報道関係

直方市ホームページ (2022.07.27 掲載、08.16 更新)
 (ホーム) > 産業・事業 > 商工振興 > 次世代夢プロジェクト2022 アイデア大募集!



直方市HP
 2022年7月27日掲載



直方商工会議所ニュース
 2022年 8月号



P R T I M E S
 2022.8.22日掲載

報道関係各位
 (2022年 8 月 日)
 直方市
「みんなのカイゼン大作戦」アイデア募集中!
 ~応募者には参加賞があります!~

直轄次世代産業研究会では、2016年から直轄地域(直方市・宮若市・小竹町・鞍手町)の小・中学生を対象に「次世代夢プロジェクト事業」を実施しています。7年目となる今年、「みんなのカイゼン大作戦」をキーワードに、身の回りの便利になること・もったいないこと・困っていることを改善するアイデアを募集しています。
 募集したアイデアの中から、最優秀作品・入賞作品を表彰します。
 多くの方の応募をお待ちしています!

[URL]<https://www.city.nogata.fukuoka.jp/sangevo/1229/11677.html>



記者クラブ投げ込み
 2022年8月

AEON MALL
 イオンモール直方
 次世代夢プロジェクト2022 受賞作品展示会

シェアする | LINEで見る

みんなの「カイゼン大作戦!!」アイデア大募集!!

直轄次世代産業研究会は、直轄地域の産業振興に資するため、直方市、宮若市、鞍手町、小竹町の民間企業を中心に、地域の行政、産工会議所等で構成された団体です。次世代に向けて地域づくりや経済活動のため、研修や研究、自治体への働きかけ等の事業を展開しております。

研究会事業の一環として、毎年直轄地域の小・中学生を対象とした「夢プロジェクト事業」を行いました。今年度は、みんなの便利になる、もったいない、困っていることの、「**カイゼン大作戦!!**」をキーワードに、様々なアイデアを募集いたしました。その中から受賞作品を展示いたします。

主催：直轄次世代産業研究会 直轄産業振興センター
 共催：直方市
 後援：直方市・宮若市・鞍手町・小竹町 各教育委員会
 直方商工会議所、宮若商工会議所

日程	2022/11/07(月) - 2022/11/13(日)
時間	10:00~21:00
場所	2Fフューリップコート

イオンモール直方
 イベントニュース 2023.11.10



西日本新聞 朝刊
 筑豊版 2022.12.9

(3) 取り組んだ主な事業

⑥ 次世代に活躍する人財育成支援

2. 「キッズプログラミング教室」の実施

- 直鞍地域の小学校高学年生とその保護者を対象に、コンピュータがどのように動いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待し実施。

表 事業内容および参加組数


回数	参加組数 (人数)	内容
1回目	13(27)	micro:bitの基礎、プログラムの基本、センサーの利用、外部出力
2回目	12(25)	変数、外部出力、活用例(オルゴール作成)
3回目	14(29)	無線通信、作品発表など
延計	39(81)	

○ 成果

- 3回目の発表会においては鞍手高校SSH部を含む4組が発表し、傾斜と数字のプログラム、左右のモータを逆回転するプログラムや遮断機付き信号機を駆動するプログラム等、小学生とは思えないほどの作品を参加者の前で発表した。
- 各保護者のアンケートでは、「順序立てて物事を考える」「興味を持って自ら進んで取り組んだ」等の意見が多かった。
- 鞍手高校SSH部の連携支援も得られ、高校生の地域貢献活動としても役に立った。
- SSH：スーパーサイエンスハイスクール

キッズプログラミング教室

参加者募集!! ~みんなは未来のプログラマー~



直鞍次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取り組みを行っています。


今後IoTやAIが産業や生活において必要不可欠となる中で、基礎知識としてのプログラミングを実践する機会として、またITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

(新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、中止になることがあります。)

※写真のmicro:BITを使って初歩的なプログラムから体験していきます。

※サポーターとして鞍手高校のSSH部(科学部)の皆さんがお手伝いしてくれます。

※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。



【募集対象】直鞍地域の小学校4・5・6年生とその保護者 鞍手高校SSH部

【応募期間】2022年10月17日(月) 締切り

【応募条件】・保護者が同伴できること。

- ・インターネットができるパソコン(Windows10以上を推奨)を持参できること。(会場はWiFi環境を備えています。)
- ・3回とも参加可能なこと。


【募集定員】 20組(応募多数の場合は抽選になります)

【開催日時】(期日は変更になる可能性もあります。)

第1回目: 11月 6日(日)10:00~12:00

第2回目: 11月 13日(日)10:00~12:00

第3回目: 12月 4日(日)10:00~12:00

【会場】直鞍産業振興センター(ADOX福岡 別館) 

直方市榎木849-1 ホームページ: <https://adox.jp> <https://adox.jp>

【参加費用】1,000円/1組(micro:BITを1台支給します)

【お問合せ先】直鞍産業振興センター(ADOX福岡別館) (担当: 中村)

TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700


E-mail:kids-pro@adox.jp <https://adox.jp/kids-programming>

【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailで受け付けます。

主催: 直鞍次世代産業研究会

共催: 直方市、直鞍産業振興センター、直鞍ビジネス支援センター

後援: 直方市・宮若市・小竹町・鞍手町各教育委員会



直鞍ビジネス支援センター

応募チラシ

「次世代キッズプログラミング教室」の広報・実施状況

キッズプログラミング教室開催について

みんなは未来のプログラマー



教室風景 鞍手高校 SSH 部よりサポート

試作したオルゴール スラローム走行

直鞍次世代産業研究会では、地域を担う子供たちの創造力や、IT の力を養うための取り組みを行っています。本年度は参加者各人にオルゴールを作ってもらい、プログラムとものづくりの体験を行います。鞍手高校SSH部と、研究会 IT 企業の協力も得ながら、今年もキッズプログラミング教室を開催予定です。(コロナウィルスの感染拡大により中止もあります) 問い合わせ先:事務局0949-22-0575(中村)

直方商工会議所ニュース 2022年10月号

次世代キッズプログラミング教室開催!!



オルゴール作り IT企業の講義と実演

プログラム発表会 鞍手高校SSH部

11月6日から3回のキッズプログラミング教室を開催しました。本年度は参加者各人にオルゴールを作ってもらい、プログラムとものづくりの体験を行いました。教室は今年も鞍手高校SSH部と、研究会IT企業の協力をかけ親子で楽しく参加頂きました。また3回目では、発表会やラジコンカー等でプログラムによる創作可能性を体験できました。(事務局0949-22-0575(中村))

直方商工会議所ニュース 2023年 1月号



研修状況



SSH部のサポート



オルゴール作成



発表者



自動車学校



鞍手高校教諭・部員への御礼

(3) 取り組んだ主な事業

⑦ 2022(令和4)年度 自動車・次世代合同新年会の開催

2023(令和5)年1月23日(月) (参加者46名)(エクセレントガーデン)
次世代産業研究会と自動車産業研究会は、1月23日に「合同新年会」を開催した。来賓の方々の挨拶や多くの会員企業様との懇談で、新年への意気込みや英気を養うことが出来た。



次世代産業研究会会長挨拶



自動車産業研究会会長挨拶



懇談写真1



懇談写真2

(3) 取り組んだ主な事業

⑧ 3月例会(3月8日)・事業化事業(参加者19名)(ADOX別館・研修室)

セミナー：「技術流出の防止に向けて」サイバー攻撃への備え
福岡県警察本部・外事課

次世代産業研究会と自動車研究会は合同で3月8日に、「経済安全保障」および「サイバー攻撃情勢と対策」のセミナーを行った。

1部 経済安全保障 ～技術の流出防止に向けて～
現在、技術流出の防止は、経済安全保障上の重要な課題となっている。

警察では、この課題に取り組むため、企業や大学などにおける技術流出の防止対策を支援するためのセミナーを実施している。

2部 サイバー攻撃情勢と対策

警察では、サイバー攻撃の被害防止や実態解明のため、企業等に対し、個別訪問による脅威情勢の共有や、セミナー・訓練、情報提供のお願いなどを行っている



(4)事業の総括

- 研究会活動はコロナ禍3年目に入り、市場研究事業、事業化事業活動再開を考慮し、コロナ感染低迷期を狙い、会員の集まった総会、セミナーや視察会等の企画を行った。視察等については、受入機関側も会社のコロナ感染状況により延期の判断もあったが中止の判断はなく、ほぼ行う事ができた。
令和5年度もコロナ感染状況を見ながら通常活動に戻し、多くの会員が参加できる企画を行う必要がある。
- 「夢プロジェクト事業」は、昨年度より応募方法を「紙(アナログ)」と「電子(デジタル)」を追加して応募を行った。しかしながら「電子(デジタル)」方法の応募は2作品(1作品はFAX)のみで、他は「紙」のみでありデジタル化への遅れを感じた。
応募数は集中的に取り組んで頂いた直方市中学校と宮若市小学校が多く、247作品の応募があった。直方市外の学校は応募が少なく次年度に向けてPRのため昨年引き続き各教育委員会へ報告書の提出を行った。
- 「キッズプログラミング教室」はアンケート結果を見ても好評であり、令和4年度も次世代の人財育成に注力し継続を行った。小学校でのプログラミング教育が開始され、参加者のプログラミングに対する意識も高く、本年度は講師の発案で記念品の「オルゴール作り」を取り入れ、最終回の発表会では4組が発表し、小学生とは思えないほどの作品の発表を行った。また鞍手高校との連携も出来、今後につながる取組となった。
令和5年度の取組み継続も検討する必要がある。
- 情報発信については令和元年度よりホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようになった。令和2年度よりホームページ内に、新型コロナウイルス対策支援一覧を掲載し都度更新を行った。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。

第2号議案

2022(令和4)年度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
入会金	0	0	0	
正会員会費	339,000	327,000	△ 12,000	27社(28名)(4/1日現在)、会費減額(1/2)、3月31日1社(退会)、過徴収調整(3,000円)
賛助会員会費	20,000	20,000		08社(4/1日現在)、会費減額(1/2)
雑収入	50,000	213,025	163,025	ADOX事業費、参加費、預金利息
前年度繰入金	727,580	727,580	0	
合 計	1,136,580	1,287,605	151,025	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C-B)	
総務	370,000	498,965	128,965	3年ぶり対面総会開催、新年会開催、コピー機使用料、お茶代、郵送費、その他
次世代市場研究費	100,000	34,964	△ 65,036	企業視察は行ったが会費半額のため旅費等各社持ち。必要経費のみ会費より支出
次世代事業化事業費	170,000	0	△ 170,000	展示会参加
次世代組織人財事業費	200,000	284,257	84,257	夢プロ:直方イオン展示パネル借用・設営費 キッズプロ:ADOX事業費97,020 micro:bit半導体不足で価格高騰
研究会情報提供事業費	140,000	123,935	△ 16,065	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	10,000	0	△ 10,000	わくわーく(2022年度は無)
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	
予備費	146,580	0	△ 146,580	
合 計	1,136,580	942,121	△ 194,459	
収支差額	0	345,484	345,484	次年度繰り越し

2022(令和4)年度直轄次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金)	2,327,723	2,327,723	0	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	46	40	△ 6	予定金利の低下
合計	2,327,769	2,327,763	△ 6	

2. 視察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
視察研修助成費(前年度積立金)	936,037	936,037	0	
視察研修助成費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	13	11	△ 2	予定金利の低下
合計	936,050	936,048	△ 2	

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を行ったので下記のとおり報告する。

記

1. 監査期日

令和5年3月16日(木)

2. 監査場所

直鞍産業振興センター別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などに基づく会計処理の状況について説明を受け、監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

令和5年3月16日

監査役 大 熊 孝 二 印

以上

第3号議案

2023(令和5)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2022年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人財育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、会員企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取り組む。

次世代の地域・企業のための人財育成に関する事業を進めていく。

また会員企業が最新の技術や製品情報は勿論、企業の在り方を実感する展示会、セミナーや先端技術視察の企画や、ソーシャルビジネスへの取り組みとして(SDGs・ESG・RPA含)、研修や講演会を行う。

次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう、地域外企業・団体・自治体とのマッチング、自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 夢プロジェクト部会事業

- ・夢プロジェクトの実施：小中学生が地域課題を例に論理的なアイデアを持つ機会を進める
- ・事業課事業：会員企業が最新技術や製品情報を集めるため、展示会視察・セミナーを企画する

(2) 人財開発部会事業

- ・キッズプログラミング教室の実施：デジタル社会や技術的能力の興味に資する機会を提供する
- ・研修・講演：ソーシャルビジネスへの取り組みとして(SDGs・ESG・RPA含)、研修や講演会を行う

(3) 技術育成部会事業

- ・視察：会員の技術育成として、新形態や新技術・新サービス等に関する視察を行う
- ・リスキリング：学び直しの機会とともに地域特有のスキリングインフラの構築を提案し機会を提供

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

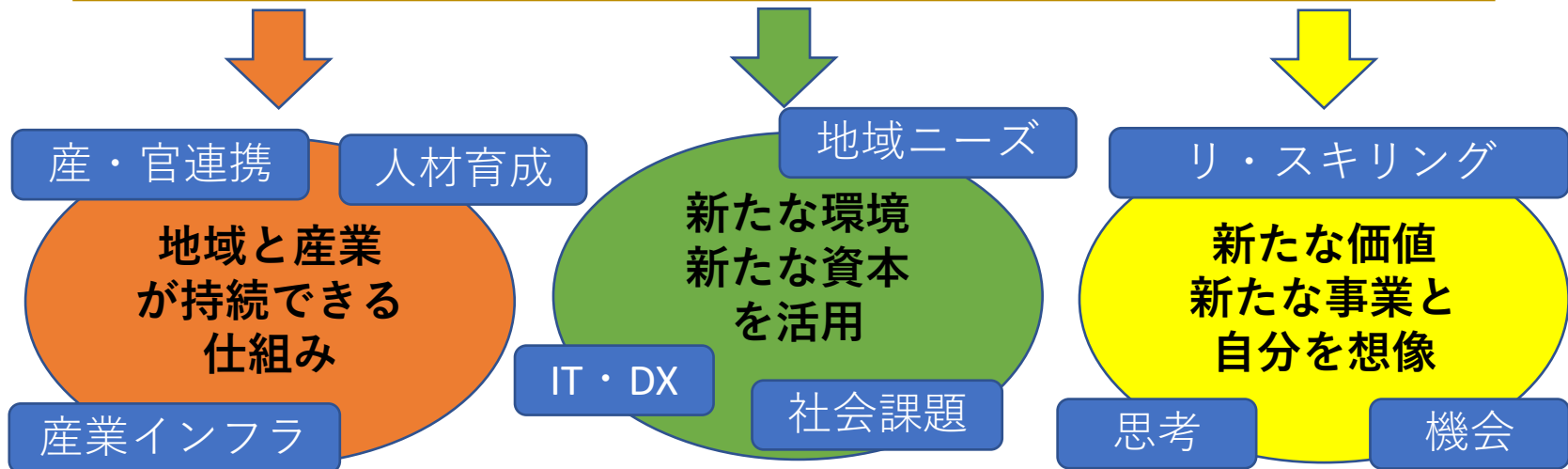
- ・地域市町村のマスター・アクションプラン等への協力

(6) 視察研修助成金事業

夢プロ、キッズプロ、スキリングインフラの重要性

直轄地域の次世代の形成のために

意識ある地域人材の育成と今後の技術機会、地域風土の醸成



地域産業・社会の今後において今、準備しなければならない
事やモノを提供したい

【新規事業として取り込む環境】 ソーシャルビジネスへの取り組み

・SDGs



持続可能な開発目標とは17のグローバル目標と169のターゲットから成る国連の持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針。

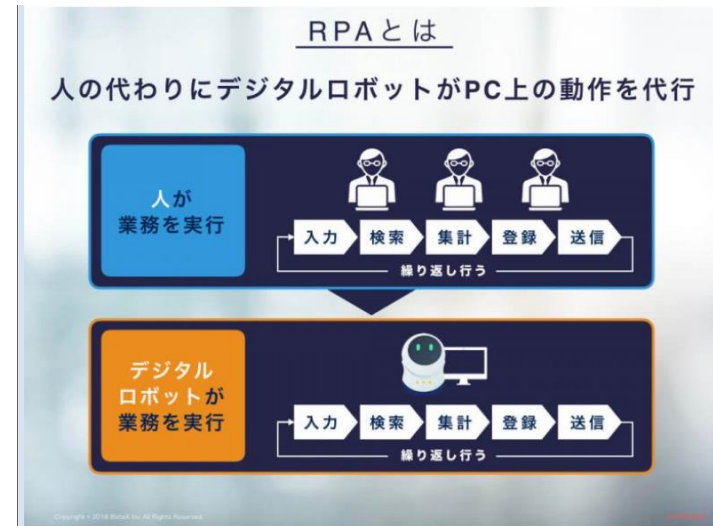
・ESG

近年、ESG投資というキーワードをよく目にするようになってきていると思います。ESG投資とは、環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資です。ESG評価の高い企業は事業の社会的意義、成長の持続性など優れた企業特性を持つと考えられます。

ESGとは企業が社会に対し負う責任



・RPA



RPA (Robotic Process Automation) とは、簡単にいうと「人間の代わりに業務をこなしてくれる自動化ツール」のことです。

第4号議案

2023(令和5)年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	2022年度予算 (A)	2022年度決算額	2023年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	0	0	0	
正会員会費	339,000	327,000	660,000	321,000	27社(28名)
賛助会員会費	20,000	20,000	40,000	20,000	8社
雑収入	50,000	213,025	350,000	300,000	ADOX事業費:100,000 +参加費+預金利息
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	727,580	727,580	345,484	△ 382,096	昨年度繰越金
合 計	1,136,580	1,287,605	1,395,484	258,904	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	2022年度予算 (A)	2022年度決算額	2023年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	370,000	498,965	540,000	70,000	対面総会、新年会開催予定 (会費:4,000円雑収入)
夢プロジェクト部会費	160,000	101,749	140,000	△ 20,000	夢プロ、事業化
人材開発部会費	120,000	182,508	220,000	100,000	キッズプロ、研修・講演
技術育成部会費	190,000	34,964	120,000	△ 70,000	視察、リスキリング
研究会情報提供事業費	140,000	123,935	140,000	0	
産業振興費	10,000	0	10,000	0	
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
予備費	146,580	0	225,484	78,904	次年度繰越予定
合 計	1,136,580	942,121	1,395,484	258,904	
収支差額	0	345,484	0	0	

2023(令和5)年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	2022年度決算額 (A)	2023年度予算額 (B)	増減 (B - A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,327,723	2,327,763	40	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	40	40	0	2022年度同様利息を予定
合 計	2,327,763	2,327,803	40	

2. 視察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	2022年度決算額 (A)	2023年度予算額 (B)	増減 (B - A)	摘要
視察研修助成費(前年度積立金)	936,037	936,048	11	435,906円 定期預金 500,142円 普通預金
視察研修助成費(当年度積金)	0	0	0	
預金利息	11	11	0	2022年度同様利息を予定
合 計	936,048	936,059	11	

2023/6/1

正会員		会 社 名	役 職 名	氏 名
会長	1	直方精機 株式会社	代表取締役社長	藤永 勝巳
技術育成部会長	2	藤井精工 株式会社	代表取締役	藤井 福吉
副会長(技術育成部会)	3	直方ガス 株式会社	代表取締役社長	有吉 慶祐
副会長(人材開発部会)	4	株式会社 かね萬	代表取締役	赤松 勝治
	5	株式会社 紀之国屋	会長	中村 高明
	6	株式会社 石橋製作所	代表取締役社長	石橋 和彦
監査役	7	株式会社 ウチダ	取締役統括部長	大原 大平
	8	株式会社 紀之国屋	代表取締役社長	中村 大志
	9	株式会社 ケイ・イー・エス	代表取締役	飯野 一義
	10	株式会社 さかい家具	代表取締役社長	坂井 宏太郎
	11	有限会社 ゼロテック	代表取締役	中島 太
	12	株式会社 田中信鉄工所	代表取締役	田淵 元悟
	13	株式会社 谷弥	代表取締役社長	谷 弥壽彦
	14	株式会社 旅ランド	代表取締役	石田 和弘
	15	株式会社 筑豊産業	常務	小野 龍平
	16	株式会社 東洋プレシジョン	専務	大森 大輔
	17	株式会社 トラベルハート	代表取締役	藤井 利春
	18	福岡金属興業 株式会社	代表取締役社長	横溝 淳弥
	19	株式会社 フクモト工業	代表取締役	福本 満寿男
	20	牟田鉄工 有限会社	代表取締役	牟田 淳一
	21	有限会社 渡辺鉄工	代表取締役会長	阿比留 恭之
夢プロジェクト部会長	22	株式会社 アクセス	代表取締役	谷口 一志
	23	医療法人 健明会	取締役社長	青見 健志
技術育成副部会長	24	株式会社 スリーピースホーム	事務長	藤春 優二
副会長(夢プロジェクト部会)	25	西鞍手浄化槽管理 有限会社	代表取締役	石田 孝彰
人材開発部会長	26	藤田農園	代表	藤田 和孝
	27	株式会社アリオンシステム	直方営業 所長	魚住 健二
	28	株式会社ネビジョン	代表取締役	清水 良彦

賛助会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	アドバンテックテクノロジーズ 株式会社	副社長	越智 隆義
	2	トヨタ自動車九州 株式会社	取締役	長木 哲朗
	3	株式会社 西日本シティ銀行 直方支店	支店長	有松 光浩
監査役	4	株式会社 福岡銀行 直方支店	支店長	大熊 孝二
	5	株式会社 福岡中央銀行 直方支店	支店長	浪口 和之
	6	福岡ひびき信用金庫 直方支店	支店長	松島 英夫
	7	北九州市立大学大学院マネジメント研究科	教授	城戸 宏史
	8	直方鉄工協同組合	理事長	吉田 祐司

協働会員		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県飯塚中小企業振興事務所	所長	満保 賢二
	2	直方市 産業建設部	部長	田中 克幸
	3	直方市 商工観光課	課長	細川 貴文
	5	宮若市 産業観光課	課長	戸井 一晶
	6	直方商工会議所	会頭	谷 弥壽彦
	7	宮若商工会議所	会頭	松岡 信裕
	8	小竹町商工会	会長	植村 政人
	9	鞍手町商工会	会長	内田 一美
	10	若宮商工会	会長	塩川 善和
	11	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	間野 彰彦

名誉顧問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	福岡県	知事	服部 誠太郎

顧 問		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	直方市	市長	大塚 進弘
	2	宮若市	市長	塩川 秀敏
	3	鞍手町	町長	岡崎 邦博
	4	小竹町	町長	井上 頼子

アドバイザー		機 関 名	役 職 名	氏 名
	1	経済産業省九州経済産業局 国際部	部長	藤原 晋一
	2	福岡県 商工部	部長	見雪 和之
	3	(独)日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター	所長	斉藤 健史

事務局		機 関 名	役 職 名	氏 名
人財開発副部長	1	直方商工会議所	経営相談室長	本松 正成
技術育成副部長 (人財開発部会)	2	直方市 産業建設部 商工観光課	産業イノベーション推進係 係長	米澤 隆司
夢プロジェクト副部長		〃	産業イノベーション推進係	増野 光影
	3	ADOX福岡	センター長	神谷 昌秀
		〃	事務局長	香月 久美子
		〃	産業振興課長	中村 裕章

ご審議、ありがとうございました。

第3号議案

2023(令和5)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2021年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人財育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、参加企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取り組む。また、コロナ禍に於ける事業実施方法を会員・賛助会員へのアンケート結果を反映し、展示会やセミナーへの参加を企画する。新たな取り組みを探るためWebを用いた活動を充実させ、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会の活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 次世代市場研究事業

- ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催

(2) 次世代事業化事業

- ・社会課題などタイムリーな展示会への参加を企画し、製品見学やセミナー参加を行う
- ・コロナ禍に於ける研究会として新たな取り組みを探るため、Webを用いた活動を充実させる
- ・研究会独自の新規事業に取り組む ・新規事業:ソーシャルビジネスへの取り組み(SDGs・ESG・RPA)

(3) 次世代組織人財事業

- ・次世代の人財育成に資する取り組みや企業人財の高度化に関する勉強会の実施
 - ・夢プロジェクトの実施
 - ・キッズプログラミング教室の実施

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

- ・のおがた「わくわーく」への支援

(6) 視察研修助成金事業

(3) 取り組んだ主な事業

⑦ 2022(令和4)年度 自動車・次世代合同新年会の開催

2023(令和5)年1月23日(月) (参加者46名)(エクセレントガーデン)
次世代産業研究会と自動車産業研究会は、1月23日に「合同新年会」を開催した。来賓の方々の挨拶や多くの会員企業様との懇談で、新年への意気込みや英気を養うことが出来た。



